

令和8年度 事業計画 社会福祉法人成仁会 基本方針

新しい年度を迎えるにあたり、本年2月8日に衆議院選挙が行われ、自民党および高市氏が大きな支持を得る結果となりました。景気対策や安全保障の強化が示される一方で、増え続ける社会保障費をどのように持続可能なものとしていくかは、私たち福祉に携わる者にとって極めて重要な課題です。社会の安心を支える福祉の役割は今後さらに重要となり、地域に必要とされ続ける存在であることが求められています。

私たちは平成18年4月の事業開始以来、特別養護老人ホームの整備、保育事業の開始、デイサービスの開設などを通じて、地域のニーズに応える形で事業を展開してまいりました。そして令和8年4月をもって、最初の事業所の開設から20年という節目を迎えます。東浦の地、そして名古屋市昭和区の地において、多くの皆様に支えられて今日を迎えられたことに、心より感謝申し上げます。

この節目を新たな出発点とし、2026年から2030年までの新たな中長期計画を策定いたしました。

『福祉』×『医療・健康』

『福祉』×『医療・健康』×『食』

『福祉』×『医療・健康』×『食』×『農業』

を発展の柱とし、介護・保育・医療を起点に暮らしを支える「メドックグループ」の実現を目指します。また、働く人にとって安心して働き続けられる組織づくりを進めるとともに、食と農を通じて知多エリアを「高福祉・共生のまち」として支えていくことを目標としています。

一方で、介護業界を取り巻く環境は依然として厳しく、安定した経営基盤の確立と、地域に信頼され選ばれ続ける存在となることが重要な課題です。福祉とは、「明日もここで安心して暮らせる」と感じていただける環境を守り続けることにほかなりません。20年の歩みに支えられた責任を胸に、地域にとって不可欠な存在であり続けられるよう、誠実に取り組んでまいります。

最後に、日頃より当法人の運営にご理解とご支援を賜っております皆様に心より御礼申し上げます。今後とも、地域とともに歩み、信頼される法人として努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人成仁会
理事長 吉田禎宏

◆社会福祉法人成仁会 社是「人創り」

成仁会は『仁』で『成』ると書きます。「仁」は中国思想における徳の一つで、「相手を思いやる気持ち」を意味します。創設者である吉田均前理事長には、対象となる高齢者や児童、職員や仲間、所属事業所や地域などの、自分の周りに対して「仁」を持って接していくことで、「みんなの福祉(=幸せ)の連鎖」を成し遂げたいという想いがありました。介護看護や保育は、相手の幸せを感じ、それを自分たちの幸せにできる仕事です。成仁会の活動を通して、互いに福祉(=幸せ)を感じらえる「人創り」を行い、地域社会に貢献していきたいと思っています。

◆社会福祉法人成仁会 行動指針

『その行動に熱意はあるか』 『その行動に誠意はあるか』
『その行動に敬意はあるか』 『その行動に創意はあるか』

「ご利用者」「園児」「その家族」「地域」の喜びが
私たちの喜びにつながる仕組みづくりを行っていきます

◆メドック東浦 基本理念

私たちは、『地域の福祉拠点施設』としての役割を担います。
私たちは、『ノーマライゼーション』に基づきご入居される皆様の自立を支援します。
私たちは、『個人の尊厳』と『生きがい』を持ち続けていただく環境づくりに
最善を尽くします。

◆夢ハウスめどっこ保育園 保育理念

『その子らしく、素直に、のびのび育つ保育』

- ☆ 感性豊かな子
- ☆ 自分らしさを表現できる子
- ☆ のびのびと遊ぶ子
- ☆ 思いやりのある子

◆『MEDOC 職員行動規範』

- ① 気持ちのよい「笑顔と挨拶」を実践します
- ② 全員が主役であり、「チームワーク」を大切にします
- ③ 働く仲間とともに「みんなで成長」します
- ④ 「身だしなみと気持ち」を整え業務に入ります
- ⑤ 失敗を恐れず「チャレンジ」します。
- ⑥ 仲間への中傷や非難する言動はしません
- ⑦ 常に仲間への感謝をし、「ありがとう」をたくさん言います
- ⑧ 困難があっても、「夢と目標」を実現します
- ⑨ MEDOC を代表する「広告塔」の意識を持って行動します
- ⑩ MEDOC に関わるすべての人たちへ感謝の気持ちを持ち、
「心地よさ」「安心感」「楽しさ」を提供することに努め、
MEDOC を「日本でいちばん大切にしたい」と思ってもらえる施設作りに貢献します

◆メドック東浦 サービスの心得

- ① 私たちが行うは地域の共同連帯の理念下での「サービス業」
求められる「介護(ケア)のプロ」の役割を理解しよう
- ② 顧客の主役は「ご高齢者、ご利用者」「敬意」をもって接しよう
- ③ 目指すは「最高のおもてなし」。ご意見ご要望を「歓迎」しよう
- ④ 「価値の向上」の大切さを知り、常に意識しよう
- ⑤ 日常生活上で「社会活動の役割」や「楽しみ」を感じてもらう環境を作ろう
- ⑥ 「QOL 向上」を望まない人はいない。まず私たちが「できる」と信じよう
- ⑦ 「想いを止めない」こと。自立を阻害する「原因と背景」を探っていこう

◆社会福祉法人成仁会 中長期目標（2026～2030年度）

『福祉』×『医療・健康』

『福祉』×『医療・健康』×『食』

『福祉』×『医療・健康』×『食』×『農業』

☆ 介護・保育・医療を起点に、暮らしを丸ごと支える『メドックグループ』を目指します

☆ 働く人の安心を最優先に！誰もがここで働き続けられる『居場所』を目指します

☆ 食と農を活かし、知多エリアを『高福祉・共生のまち』として盛り上げます

◆社会福祉法人成仁会 SDG s への取り組み

社会福祉法人成仁会 SDG s コミュニケーションマークを展開し
認知、意識醸成を図ります



『本業で培った知見・技術の発信を通じた地域貢献』

- ・ 東浦町高齢者福祉推進協議会委員などの公的組織への参加
- ・ 東浦町福祉避難所として登録
- ・ 保育園から大学までの幅広い教育機関とのボランティア連携
- ・ 地域や学生を対象にした介護説明会の実施



『介護を大変な時間から、大切な時間へとするための教育研修・労働環境の整備』

- ・ メドック独自のプリセプター制度である「新人研修」
- ・ 中途入社の多い介護業界だからこそ「同期会」の結成
- ・ 利用者と職員がお互い無理のない方法でケアする「ノーリフティング」の導入
- ・ 日常業務で感じた喜びや出来事を共有する職員用目安箱「メドックボイス制度」
- ・ 働く女性、働くシニア応援
- ・ 愛知県ファミリーフレンドリー企業表彰



『生活を豊かすることを目的とした食を通じた活動』

- ・ 季節に応じた食のイベントの実施
- ・ オリジナル菓子作成など食を通じた地域交流
- ・ 知多野菜を使用した食事の提供



令和8年度 事業の重点項目

1. 従業員満足 (Employee Satisfaction)

年齢・性別・国籍をこえ、“ここで働けて良かった”と思える仕組みを整えます

2. 顧客満足 (Customer Satisfaction)

20年培った介護・保育の質を高め、在宅生活を守ります

3. 組織（事業性）満足 (Organizational / Business Satisfaction)

法人・グループ全体での持続可能な運営体制構築を行います

① 選ばれる介護事業所、保育園へ

より理想の入居利用率の安定化

住まい⇔デイ⇔居宅の連携率向上

入院率・他施設退去数の低減

デイサービス稼働率 平均 88%以上 へ

栄養・機能訓練・医療連携を強みとした「メドック型通所モデル」確立

保育園継続利用割合 100%

② グループ会社との相乗効果

「医療リハビリ×介護」サービス強化

グループ内職員交流、合同研修の実施

車両・IT・備品の一元管理＋コスト適正化

介護×医療の切れ目ないターミナル指針の標準化

③ 福祉価値向上「ブランディング」

SNS、HP コラム等による内部発信強化

設え、ユニホームの整備

外部も参加できる自社研修を促進（認知症サポーター養成講座等）

④ 食テーマ推進

食活デイ、倶楽部デイでのスープレランチの推進

特養ショート 食事スタイルのアップデート（クックチルの活用）

食活デイ 15時以降の時間活用

→ 職員食・子連れ勤務・交流会

保育園児の食育推進

将来の「食を通じた在宅生活支援」を事業化

⑤ 定着率 90%への再挑戦

現職員のコンディション把握・分析（自己申告書、時間外数、ニコカレ等）
ダブルキャスト、フォローアップ体制
表彰制度・サンクスパーティー継続
社内資格取得率の向上（介護福祉士、介護支援専門員、認知症研修等）
共通言語体制促進（行動規範、やっていますか100の活用）

⑥ 働く女性を応援できる仕組みづくり

働く女性応援 法人制度へ
現在実施施策（継続・発展）
子育て短時間正社員モデル
保育園との連携勤務
育休復職支援
人間ドック、婦人科健診
子育て世代へ社内資源の活用
子連れ勤務可能体制

⑦ シニア世代・外国人職員が働き続けられる職場環境づくり

介護保育業務以外の業務メニュー充実
人間ドック、脳ドック健診（継続・発展）
シェアハウス等生活サポート
外国人専属研修の充実

⑧ 知多エリアの高福祉地区応援

地域福祉業界・学校・地域活動団体との連携
地域イベント・防災・SDGs・共生PR
農ジャンルの調査・ネットワークづくり
農×福祉×食の小さな実証モデル検討

⑨ 各種補助金の戦略活用

補助金戦略チームの編成・運用
ICT・ロボット・食・働き方改善への重点投資
補助金を制度・環境改善につなげる
行政との事前相談・モデル事業連携